

●とびくす●

ノーライフ・ノーまちなみ連

徳島地域会 矢野 雅紀



早いもので、転職を機に徳島市に永住して17年、建築士会に入会して17年、まちなみ連に参加し17回目の夏を迎えました。今回

まちなみ連について「まちかど」を書くうえで、徳島での私の生活の一部には常にまちなみ連があることに改めて気付かされました。私の人生の中で、このような大きな祭りに参加するようなことはなく、なぜここまで続けることが出来たのか今でも不思議に思うところがあります。

私は、徳島に永住する前は、某ゼネコン勤務で全国の建設現場を転々としており、どこかに定住し、その地域コミュニティと関わりを持つような生活スタイルはなく、祭りは見るものだと思っていました。

そんな私がまちなみ連に入った当初は、幼少だった息子が徳島の阿波踊りに触れる機会が持つことができ、保育所以外にも友達ができれば良いとの思いで参加しました。一方私自身は、当初ただただ息子と一緒に楽しめたらと考えていました。しかし、息子も成長とともにまちなみ連を卒業し、少し寂しさを感じながらも17年間、ずっと踊り続ける自分がいることに気付きました。なぜ続けられたのか?と思い返したとき、そこには「まちなみ連」の居心地の良さと、気の合う仲間がいたからだと言えます。

まちなみ連には建築士会徳島支部メンバー中心に、その家族や友人、岡山支部の陽気な面々、外国の学生さん、建築業に関係する企業の方々などいろいろな人達が参加しており、みんな楽しく笑顔で踊る阿波踊りという祭典は、この一瞬この場でしか巡り合うことができない貴重なコミュニティの輪を作り出してくれます。私は、阿波踊りを通じて築き上げられたこのコミュニティの輪をいつの間にか居心地の良いものとして得ていたのです。まさにノーライフ・ノーまちなみ連となりました。

そんなまちなみ連の中でも、特に同世代メンバーは、「からだがしんどい」「仕事が忙しい」「腰が痛い」「子供が相手してくれなくなった」など年相応



の愚痴を言いながらも、必ず毎年一緒に踊り、笑い、徳島の街を踊りまわるメンバーであり、彼らに巡り合えたことが、私が17年間まちなみ連に参加し続けられた最大の理由であることを改めて実感しました。

さて、こんなおセンチな話より、今年のまちなみ連の阿波踊りはどうだったのか話さなくてははいけませんね。今年も例年通り12日と14日の2日間、徳島の街へ繰り出し、ヘトヘトになるまで踊りました。少し雨が降りましたが全体的に天候に恵まれ、時に涼しい風が吹いたことから、絶好の阿波踊り日和でした。



まずは、建設センターでのウォーミングアップ、外国の学生も照れながらもみんな笑顔で踊っています。その後は、センター前での恒例の写真撮影、みんなの顔から

は、これから始まる阿波踊りにワクワクする様子が伺え、特にちびっ子達の笑顔が最高です。

いざ! 徳島の街に繰り出し、まずは新町東演舞場から踊り始め、たくさんの観光客が待つ演舞場に向け、ちょっと緊張気味のちびっ子達も元気よく踊り、その後ろの中年のおじさんたちは、酒の力も借り「ヤットサー」の掛け声とともに祭りの開始を楽しんでいます。

祭りも終盤、まだまだ踊り足りない踊り手達は、両国橋で輪踊り、もうこれでもかと言うほど鉦の音が続く、みんなの笑顔が苦痛の顔に変わっていくのが印象的でした。それでも鉦の音が終わった瞬間、誰もが目一杯踊り切った達成感を感じさせる笑顔は最高です。

そんなまちなみ連のコアメンバーも高齢化で年々参加者が減ってきており、残ったメンバーは、なんとかまちなみ連を存続させていかなければとの思いで奮闘しています。新たにまちなみ連で踊り、共に「まちなみ連の輪」を広げ、盛り上げたい人がいれば気軽に参加して見て下さい。私のようにノーライフ・ノーまちなみ連となるメンバーを待っています。



●地域会だより●

21年続く、住まい無料相談会

海部地域会 和西 強次

平成16年5月15日牟岐町役場2階和室にて始めた「建築士会による住まいの無料相談会」海部地域会会長の横尾政明氏が発案されてから21年今もなお、継続しています。当初は、毎月第3土曜日午後1時30分から午後4時の日程でしたが、相談者が減ってきたので午前中に変更しましたが、効果は無く何か策はないものかと考えますが、継続は力なりで地道に頑張っていくしかないのかと考えます。当時は、海部支部牟岐分会員は20名在籍していた設計部門と施工部門2名体制で対応していました。今現在、牟岐分会員7名となり少数精鋭で切り盛りしています。しかしながら、開店休業の状態が多く、相談員はそれを見込んでPC持参してエアコンの下、快適に仕事しています。10年ほど前より行政書士の方々と成る「一般社団法人コスモス成年後見サポートセンター」とコラボして相談会を始めました。視点が多少違いますが、全国的に問題になっている空き家、高齢者の住宅又はアパート借家の問題、実家の相続、解体など共通点のある

団体同士で相談会を通じ知名度向上し互いに地域住民のみなさんに貢献していければ良いと思います。現在ではコスモスさんの方が相談者多く来られています。空振りの日が多くても継続していけるよう息の長い事業として取り組んでまいります。



相談会会場の牟岐町役場



●あなたが出番●

出羽島キャンプ・BBQ

徳島地域会 高田 哲生

今年の徳島地域会のキャンプ大会は、出羽島にある建築士会のまちづくりハウス「てばの家」で開催しました。

私が青年部時代から続く夏の親睦事業ですがここしばらくは参加できていなかったこともあり、とても楽しみでした。ただ、離島の出羽島での開催としたことで参加者のみなさまの負担も多く、少し心配しましたが、他の地域会からの参加者も含めて12名で楽しむことができました。

□ 昼の部

牟岐港から昼前の便（11：10発）で渡り、急ぎ手分けして BBQ の用意と周辺の草刈り作業。ひと汗かいたあと、お楽しみのランチタイムです。海部地域会の栗田さんに段取りしてもらったサザエと牡蠣、メインのお肉にと、みんなお箸をのぼします。

殺人的な炎天下、若手が焼き手として奮闘してくれる中、副会長の栗田さんが指揮を執って料理が次々に。日帰り組のみなさんは BBQ を十分に堪能して、最終便（16：35発）で帰路につきました。



百音ちゃん（湯村さん娘）より
初めて建築士会さんの BBQ に参加させていただいたのですが、みなさんととてもフレンドリーで私たちともたくさんお話して下さり、緊張もほぐれ楽しめました。

夏のいい思い出になりました。

□ 夜の部

夜になって、宿泊メンバー6人と、ご近所の鳥見のおじさんと出羽島と神戸の二地域居住をしているニックも一緒にビールをしこたま飲みながらゆっくりとお話することができました。ニックは出羽島でいろいろと面白いことを考えているようでこれから楽しみです。今年も気温が異常に高く蚊もあまりいないようで夜はとても快適に過ごせました。



今回のキャンプは少し遠くでの開催となりましたが、徳島市内からでも日帰りでの企画も可能ということがわかって使い方も広がるのではと思います。

みなさん遠いところご協力ありがとうございました。

さきちゃん（湯村さん姪）より

まず船で出羽島まで渡ったのですが、ちょっとした旅行気分でもとても楽しく、気分も高まりました。バーベキューは屋外で行うものだと勝手に想像していましたが、実際には綺麗に整備された民家の中で行われ、とても快適に楽しむことができました。

一緒に参加した建築士の方々が気さくに話しかけてくださり、不慣れな私にも温かく接して盛り上げてくれたので、とても嬉しく、楽しい時間を過ごせました。お肉や貝類、焼きそばなども種類が豊富でどれも美味しく、大満足でした！

また機会があれば、ぜひ参加したいと思います。

●士会だよりー男女参画委員会●

坂東商店建物見学と藍染め体験イベント

徳島県吉野川市山川町にある「坂東商店 guest room ～藍染めと宿～」を会場に、建物見学・藍染め体験・意見交換の三つのアプローチを通じて、地域と建築の関係性を深く掘り下げます。

さらに、事前申込者限定で「藍の菓子と藍茶セット」(別途700円)をご用意。藍染め文化を味覚でも楽しめる、特別なひとときをお届けします。

【開催日】2025年9月28日(日) 午後2時～4時30分

【開催地】坂東商店 guest room ～藍染めと宿～
吉野川市山川町川東73-3

【定員】10名

【駐車場】10台程度・乗り合わせ推奨

【参加費】1,000円

(藍染め体験料: 2,600円のうち一部補助あり)

※「藍の菓子と藍茶セット」希望者は別途700円(事前申込者限定)

【建物見学】坂東商店の歴史、再生工事、設計意図などについて久保田氏の解説付きで見学

【藍染め体験】

綿製の手ぬぐいを着いた藍染めワークショップ

【意見交換】

地域資源の活用や建築士会活動への応用に関する交流

【藍の菓子と藍茶セット(事前申込者限定)】

藍の風味を活かした菓子と藍茶を楽しむティータイム
(別途700円)

■講師紹介

当日は、「坂東商店 guest room ～藍染めと宿～」の再生プロジェクトを手掛けた建築士・デザイナーである久保田紀子氏(株式会社ハテナバコ代表)にご登壇いただきます。

・二級建築士、省エネ建築診断士、インテリアデザイナー

・東京都・神楽坂にて建築デザイン事務所を設立

・古民家再生や地域資源活用プロジェクトに多数参画

・2024年、「坂東商店 guest room ～藍染めと宿～」を開業し、歴史的建物の再生と地域文化の継承に取り組む

【お問合せ先】

男女参画委員会 湯村美保 090-4508-4446

●士会だより - 徳島地域会・男女参画委員会●

瀬戸内国際芸術祭 2025 in 小豆島
建物見学バスツアー

令和7年度 徳島支部×男女参画委員会 共同企画

建築とアートの魅力を体感する、小豆島へのバスツアーを開催します!瀬戸内国際芸術祭ならではの作品や空間をめぐりながら、地域の建築文化にもふれる特別な一日を過ごしませんか?ご家族での参加も大歓迎です。ぜひお気軽にご参加ください。

日程: 2025年10月25日(土)

定員: 25名(先着順)

参加費一般

建築士会会員(準会員・賛助会員含む): 5,000円

会員外: 7,000円

子ども(12歳以下): 3,000円

建築士会本部行事

令和7年9月		令和7年10月	
10日(水) 住宅相談	(士会会議室)	2日(木) 第2回監理技術者講習会	(士会会議室)
14日(日) 二級建築士設計製図試験	(徳島県建設センター)	12日(日) 一級建築士設計製図試験	(徳島県建設センター)
19日(金) 第67回建築士会全国大会大阪大会	(大阪府)	15日(水) 建築士定期講習	(士会会議室)
24日(水) 住宅相談	(士会会議室)	22日(水) 住宅相談	(士会会議室)
27日(土)～28日(日) 中四国ブロック若手建築志交流会	(山口県)	26日(日) AWA 建築 Jamboree2025 高校生の建築甲子園 (四国大学交流プラザ)	

※ 木造住宅耐震相談は、平日の午後1時から午後4時まで実施しています。

※ 建築相談は第2・第4水曜日の午後1時・2時・3時(相談時間は1時間以内)に実施しています(要予約)。

※参加人数により変動する場合があります。

※有料施設料(500円×2ヵ所)、昼食代(オリブ牛のローストビーフ丼 2,750円)は参加費に含まれます。

申込方法: 下記のGoogle フォームよりお申し込みください。

<https://forms.gle/yk11KfKPo4m86VcD8>

申込フォームの利用が困難な方は、以下の項目(全て必須)をご記入の上、徳島県建築士会事務局までFAXにてお申し込みください。FAX: 088-624-1710

氏名、住所、年齢、携帯番号、メールアドレス、所属支部名、バス乗車地

締切: 2025年10月11日(土) 午後5時

先着順。定員に達し次第、受付を締め切ります。

主催: 徳島県建築士会 徳島地域会 支部長 高源 真由美

お問い合わせ 男女参画委員会 湯村美保 090-4508-4446



総合防水工事

これまでもこれからも安心できる防水

株式会社 ナカバリコート

防水工事の事なら何でもお気軽にお問い合わせください

<https://nakabari.com/>

本社 〒779-2305 徳島県海部郡美波町奥河内字奥島72番地 TEL:0884-74-7690 FAX:0884-77-1258
徳島営業所 〒770-8022 徳島県徳島市大松町大久保105 TEL:088-635-3679
鳴門営業所 〒776-0014 徳島県吉野川市知恵島字千田須賀東904番地10

あなたの夢を
Build your Dreams
実現しよう

夢の架け橋
日建学院

さあ、あなたの力を
発揮しよう

徳島校 TEL.088-622-5110

編集後記

・近所のスーパーで備蓄米(5キロ1,780円)を購入しました。味については、小泉農水大臣の「おいしかった」というコメント以外は聞こえてきませんが、正直言って……

ダメだ! 正直には言えない。

(ノーリツ号)

・令和の米騒動。家計に響きます。

(ひとはたうさぎ)